

ちからこぶ

福祉通信「ちからこぶ」2008年9月号 山口 了 書



山ノ内町遺族会 慰霊法要

7月28日(月)大悲殿にて、山ノ内町遺族会主催の慰霊法要が厳かに執り行われました。前日の大雨で開催も危ぶまれましたが、天候は回復し当日は来賓7名、参加者約50名の参加となりました。先の大戦で喪われた肉親への思い、現在平和で豊かな生活への感謝等さまざまな思いを胸に焼香し、戦争のない平和な世界の実現を祈りました。

遺族会の会員の減少と課題は多いですが、今後も結束を深め会推進及び、全ての人が平和に暮らしていける様に、世界平和を祈願し静かに終了しました。

今月の表題を書いてくださったのは、山ノ内町遺族会長、山口了さん。

「今年も58回目の慰霊法要をすませることができました。これも一重に関係者皆様のお力添えの賜と厚く御礼申し上げます。

毎年8月15日の近くになりますとマスコミは戦争の残虐性・無意味さ・非人間性を話題にしてくれますが、私達は不戦の誓いを宗として毎日平和を祈っております。」と慰霊法要の感想をいただきました。

山ノ内町社会福祉協議会でも世界平和を願い、遺族会のお手伝いをさせていただきたいと思えます。

私達は英霊の鎮魂と遺族の福祉の為に、日夜活動しております。よろしくご指導とご支援をおねがいします。

このひとに注目
山口了さん



